

水無月のプチ茶会

夏
茶道具
得 先取りバーゲン
籠花入・ガラス製品
三輪休和
セール

6/11木 12金 13土
10:00am ~ 4:00pm

social distance この度の茶席は一席五名様までを限度とさせていただきます

夕顔の意匠について

夕顔は、夏の夕方に開いた白い花が翌日の午前中にしぼんでしまうことに由来する。室町時代以降「源氏物語」に取材した画題として、蒔絵にも好んで使われた。夕顔意匠の代表的な茶道具には認得齋好がある。中でも八代宗哲写夕顔大棗は、黒塗の器体に大きく描かれた写生風の夕顔図で、蔦と葉は金高蒔絵で、花三輪は銀高蒔絵、花蕊(かずい)は金が蒔量(まさぼかし)にしてある。この棗は、同好の桑夕顔台子の上に飾るべく好まれたと伝えられているが、本歌は仙叟好夕顔彫皆具に併せて好まれた真塗の夕顔蒔絵台子とされている。認得齋の好棗の代表格でありながら、書付のあるものはみられないことなど詳細に不明な点が多い。玄々齋はこの棗が気に入ったのか夕顔平棗・溜中棗・溜平棗と自分の好みにしている。また古くから皆具に合わせて台子を好むことがあり、1919年(大正8年)円能齋が、一燈百五十年忌の時に一燈好老松皆具に合わせて老松台子を好まれた。—原色陶器大辞典より

夕顔意匠の名品 尾形乾山筆 夕顔・楓図双幅 箱根 岡田美術館蔵



乾山筆 夕顔・楓図双幅

この双幅は、岡田美術館所蔵以前は、小説家でノーベル文学賞受賞者・川端康成が所持していた。乾山は、夕顔・楓図の二幅に、夏の夕顔と秋の楓を、描き分け、和歌と漢詩を書き分けた。

夕顔の和歌は「のこる日の うすき かげより 咲出て 草の戸涼し 夕顔の花」
楓の漢詩は「幾樹飄零 秋雨裡 千般爛熳 夕陽中」幾樹もの木の葉が秋の雨にはさびしげに落ち、夕陽の中ではさまざまに輝き映える。という意。

岡田美術館は、箱根・小涌谷にある美術館。明治時代に存在した欧米人向けのホテル「開化亭」の跡地に2013年に建設。日本・中国・韓国を中心とする古代から現代までの美術品が展示されている。

川端康成が愛蔵した 青磁盤・安宅英一(あたく えいいち)コレクション 青磁水仙盆

北宋時代11~12世紀 中国・汝窯(じょよう)のご紹介です。国内では3点!中国陶磁の名品です

北宋の官窯・汝窯は「天青色(てんせいしよく)」とも形容される典雅な釉色と端正な造形を特徴とし、伝世する作品も極めて少なく不明な点も多い窯です。2000年に河南省宝豊県清凉寺に宮廷用器を生産した窯が見つかり、現存する汝窯の青磁は世界で約90点、国内では東京国立博物館蔵「青磁盤」と大阪市立東洋陶磁美術館蔵「青磁水仙盆」、2016年に確認された個人蔵の「青磁の盞(茶碗)」の3点。ここでご紹介の「青磁盤」は、川端康成が愛蔵したものであったが「埴輪 乙女頭部」を手に入れたくて交換したとされている。個人蔵になりその後東博蔵になった。汝窯の作品中でも台北 国立故宮博物院が誇る青磁無紋水仙盆は、「神品至宝」とされ、清の乾隆帝はとりわけこの作品を好んで賞玩し、底部には自ら詠んだ詩(御製詩)を刻ませた。中国陶磁の名品中の名品といわれる。同手の大阪市立東洋陶磁美術館蔵「青磁水仙盆」は、昭和44年安宅英一コレクションに入った。口縁部が少し欠けたため全体を削って調整し、覆輪で覆い隠したものと思われる。安宅英一コレクションは、かつて日本の十大商社の一角を占めた安宅産業株式会社が、事業の一環として収集した約1000点に及ぶ東洋陶磁器のコレクションをいう。安宅英一死後、コレクションは住友グループによって大阪市に寄贈され、昭和57年大阪市立東洋陶磁美術館が設立された。

川端康成愛蔵品は、他に浦上玉堂 国宝「凍雲篩雪図」、与謝蕪村・池大雅合作 国宝「十便十宜」、雪舟 重要文化財「黄初平図」(こうしよへいず)、ロダンの彫刻「女の手」、平安時代後期の「金銅三鈷杵」(こんどうさんこしよ)、「聖徳太子立像」、「埴輪 乙女頭部」など名品が多い。

華乃会 お買い得価格 夏の茶道具 籠花入・ガラス製品



加藤ひろこ
金砂子夕顔茶碗
特価 ¥27,000



永山 ギヤマン
メダカに流水茶碗
¥6,900 → ¥4,800



宋絢 ギヤマン朝顔茶碗
¥8,200 → ¥5,700



花籠肩衝掛花入
¥10,700 → ¥7,500



蟬籠花入
特価 ¥4,000

編集の窓



箱根湿性花園にて

photo by S.A

山高苜の白露しげみ 心も深く わが恋やまず 柿本人麻呂

六月から八月にかけて日本各地の日当たり葉の悪い湿った岩や崖に生える多年草。葉の形がタバコに似るので名付けられたとされる。若葉が食用にできることから古くはイワヂンヤ(岩高苜)とよばれた。また葉を採取して水気を取り、日干ししたものは生薬となり、胃もたれ、食欲不振に効用があり、苦苜苔(くきよたい)と呼んでいられる。山高苜(やまちさ)は岩煙草を指すという説が一般的

岩煙草 イワタバコ

だんだんと落ち着いてきましたがまだまだ油断なりません。6月のプチ茶会も換気、除菌、マスクを徹底していきたく思いますのでよろしかったら遊びにいらしてください。部長のちゃあもマスクでお待ちしております。



ギャラリー森田HPではおススメ品を動画配信しています。またご覧くださいませ(^.^)



左記のQRコードを読み込みアクセスしてください！
スマホでご覧いただけます



ご案内

